

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	AI/MOT
科目基礎情報					
科目番号	0138		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質化学工学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材					
担当教員	石田 文彦				
到達目標					
AI・データを活用するための技術を理解できる。 企業の実例を基に社会で活用されているデータの有用性を理解できる。 AI・データサイエンスが様々な分野の知見と組み合わせることで、新たな価値を創出できる可能性があることを理解できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1 (AI・データの活用技術)	AI・データの活用技術を十分に理解できる。	AI・データの活用技術を理解できる。	AI・データの活用技術を理解できない。		
評価項目2 (社会におけるデータの有用性)	社会で活用されるデータの有用性を十分に理解できる。	社会で活用されるデータの有用性を理解できる。	社会で活用されるデータの有用性を理解できない。		
評価項目3 (新たな価値の創出)	AI・データサイエンスは様々な分野と組み合わせることで、新たな価値を創出できる可能性があることを十分に理解できる。	AI・データサイエンスは様々な分野と組み合わせることで、新たな価値を創出できる可能性があることを理解できる。	AI・データサイエンスは様々な分野と組み合わせることで、新たな価値を創出できる可能性があることを理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	AI・データを活用するための基礎技術を修得し、Society5.0を目指す社会変化の中で社会で活用される広範な領域のデータが日常生活や社会課題を解決するための有用なツールであることを実例から学ぶ。 企業現場におけるデータ活用事例より、AI・データサイエンスは様々な分野と組み合わせることで、新たな価値を創出できることを学ぶ。				
授業の進め方・方法	講義および演習を中心に授業を進める。				
注意点	レポートにより評価する。 到達目標の達成度を確認するために、提出レポートに対して質問することがある。 本科目では、60点以上の評価で単位を認定する。 評価が60点に満たない者は、願出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者には、その評価を60点とする。 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと (授業外学習・事前) 授業内容を予習しておく。 (授業外学習・事後) 授業内容に関する課題を解く。 授業計画は、進捗等により変更する可能性がある。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	授業の到達目標について理解できる。	
		2週	AI・データの活用事例と技術 1	企業でのAI・データの活用事例とその技術について理解できる。	
		3週	AI・データの活用事例と技術 2	企業でのAI・データの活用事例とその技術について理解できる。	
		4週	AI・データの活用事例と技術 3	企業でのAI・データの活用事例とその技術について理解できる。	
		5週	AI・データの技術 1	AI・データの活用のための技術について理解できる。	
		6週	AI・データの技術 2	AI・データの活用のための技術について理解できる。	
		7週	AI・データの技術 3	AI・データの活用のための技術について理解できる。	
		8週	レポート作成 1	1-7週までの内容をレポートにまとめ、要点を理解できる。	
	4thQ	9週	AI・データの活用事例と演習 1	AI・データの演習と、それを通して企業での活用事例について理解できる。	
		10週	AI・データの活用事例と演習 2	AI・データの演習と、それを通して企業での活用事例について理解できる。	
		11週	AI・データの活用事例と演習 3	AI・データの演習と、それを通して企業での活用事例について理解できる。	
		12週	AI・データの応用・運用事例 1	AI・データの応用事例、運用事例について理解する。	
		13週	AI・データの応用・運用事例 2	AI・データの応用事例、運用事例について理解する。	
		14週	レポート作成 2	9-13週までの内容をレポートにまとめ、要点を理解できる。	
		15週	レポート作成 3	この講義で学んだ内容をレポートにまとめ、理解できる。	
		16週	成績評価・確認	成績評価・確認を実施する。	
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合							
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	0	0	40
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20